



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月2日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 明
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 柴田 卓 (TEL) 03-3985-2020
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	216,431	△3.8	26,560	16.9	31,376	7.8	23,670	26.5
28年3月期第3四半期	224,978	1.5	22,722	△8.5	29,097	△5.8	18,705	△4.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 18,994百万円 (△4.7%) 28年3月期第3四半期 19,940百万円 (△37.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	296.21	296.01
28年3月期第3四半期	230.74	230.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	762,998	653,919	83.7
28年3月期	759,049	643,127	82.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 638,534百万円 28年3月期 628,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
29年3月期	—	50.00	—		
29年3月期 (予想)				60.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	281,500	△3.0	30,500	5.6	36,500	△0.7	27,500	22.4
								344.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	90,139,653株	28年3月期	90,139,653株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	10,232,249株	28年3月期	10,230,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	79,909,601株	28年3月期3Q	81,065,004株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(2) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期のOTC医薬品市場は、総合感冒薬、解熱鎮痛剤など前年を上回るカテゴリーがあった一方で、ドリンク剤、胃腸薬、便秘薬などのカテゴリーの不振もあり、総体的には低調に推移しました。

医薬事業につきましては、新薬の創出が困難になりつつあるなかで、医療費適正化諸施策の浸透に加え、平成28年4月に実施された薬価改定の影響もあり、依然として厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、多様化する生活者のニーズに対応すべく、製品開発面では生活者の健康意識の高まりや変化に対応した新しい領域・新しいコンセプトの商品開発に積極的に取り組んでいます。また、販売面ではマーケティングと営業活動の連動性を高め、需要を創造する活動を強化するとともに、通信販売等の新しいチャネルの拡充による生活者との直接のコミュニケーションにも注力しています。海外市場におきましては、アジアを中心にOTC医薬品の事業開発を積極的に行っております。

医薬事業部門でも、きめ細かい情報提供活動による新薬の売上最大化を図るとともに、自社オリジナル開発物質の継続的な創出と開発段階の化合物の早期承認取得を目指しております。また、国内外の企業からの有望候補物質の導入を積極的に進め、開発パイプラインの強化にも努めております。

当第3四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、2,164億3千1百万円（前年同四半期比△85億4千6百万円、3.8%減—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	1,382億円	(△ 6億円)	0.4%減)
内訳			
国内	1,157億円	(+ 13億円)	1.1%増)
海外	203 "	(△ 19 "	8.4%減)
その他	21 "	(△ 0 "	0.9%減)
<hr/>			
医薬事業	783億円	(△ 79億円)	9.2%減)
内訳			
医療用医薬品	755億円	(△ 93億円)	11.0%減)
その他	28 "	(+ 14 "	98.4%増)
<hr/>			

主要製品の売り上げ状況は次のとおりであります。

<セルフメディケーション事業>

当第3四半期連結累計期間売上高は、1,382億円(△6億円、0.4%減)となりました。

主力ブランドでは、ドリンク剤の「リポビタンシリーズ」は、主力の「リポビタンD」が前年を下回り(3.5%減)、シリーズ全体では474億円(3.2%減)となりました。「パブロンシリーズ」は、主力のかぜ薬が堅調に推移し、シリーズ全体では188億円(4.6%増)となりました。発毛剤「リアップシリーズ」は、シリーズ全体で123億円(2.7%減)となりました。

一方、アジアを中心に展開中の海外OTC医薬品事業は、現地通貨ベースで計画通りに進捗しておりますが、為替の影響を受けて126億円(7.5%減)となりました。

<医薬事業>

当第3四半期連結累計期間売上高は、783億円(△79億円、9.2%減)となりました。

主な増収品目は、骨粗鬆症治療剤「エディロール」175億円(15.3%増)、骨粗鬆症治療剤「ボンビバ」46億円(23.9%増)でした。一方、β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」は127億円(44.3%減)、マクロライド系抗菌薬「クラリス」は72億円(20.9%減)、末梢循環改善薬「パルクス」は42億円(13.6%減)と、薬価改定及び後発医薬品の影響等もあり前年比マイナスとなりました。なお、2型糖尿病治療薬「ルセフィ」は21億円(206.6%増)、平成28年1月発売の経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコア」は11億円となりました。

利益面につきましては、販売促進費等の減少で販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、営業利益は265億6千万円(16.9%増)、経常利益は313億7千6百万円(7.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は236億7千万円(26.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ39億円増加し、7,630億円となりました。受取手形及び売掛金が148億円、関係会社株式が118億円それぞれ増加しましたが、有価証券が216億円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ68億円減少し、1,091億円となりました。未払金が29億円、支払手形及び買掛金が25億円、未払法人税等が15億円それぞれ減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ108億円増加し、6,539億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益237億円、その他有価証券評価差額金19億円が主な増加要因であり、為替換算調整勘定84億円、剰余金の配当80億円が主な減少要因でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期までの業績等をふまえ、平成28年8月1日に公表しました通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

ー売上高

売上高予想を従来予想から35億円引き下げ、2,815億円に修正いたします。

セルフメディケーション事業では、国内につきましては、第3四半期までの売り上げの状況をふまえ、「リポビタンシリーズ」「リアップシリーズ」などを中心に従来予想を引き下げます。海外につきましては、現地通貨ベースでは計画通り進捗しているものの、為替の円高影響を織り込み従来予想を下方に修正いたします。結果としてセルフメディケーション事業全体では従来予想から35億円引き下げ、1,819億円に修正いたします。

医薬事業では、品目ごとに増減はあるものの、事業全体としては従来予想996億円を据え置きます。

ー利益面

利益面につきましては、売上高予想引き下げにより売上総利益が減益となりますが、研究開発費、広告宣伝費、販売促進費などを見直し、販売費及び一般管理費の予想を引き下げたことにより、営業利益は従来予想を10億円引き上げ、305億円に修正いたします。

経常利益につきましては、為替差損などの影響もあり、従来予想365億円を据え置きますが、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第3四半期までに計上した投資有価証券売却益を織り込み、従来予想を35億円引き上げ、275億円に修正いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	172,142	169,548
受取手形及び売掛金	75,243	90,029
有価証券	34,316	12,705
商品及び製品	16,425	15,481
仕掛品	2,042	1,837
原材料及び貯蔵品	8,171	7,887
繰延税金資産	6,128	5,731
その他	5,287	6,150
貸倒引当金	△86	△104
流動資産合計	319,670	309,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	45,979	50,135
機械装置及び運搬具(純額)	7,211	6,361
土地	37,473	37,451
建設仮勘定	4,627	98
その他(純額)	3,657	3,320
有形固定資産合計	98,950	97,367
無形固定資産		
のれん	19,046	16,599
販売権	4,675	3,732
商標権	12,175	9,976
ソフトウェア	2,419	2,669
その他	547	519
無形固定資産合計	38,863	33,496
投資その他の資産		
投資有価証券	237,213	246,798
関係会社株式	54,590	66,415
長期前払費用	646	666
退職給付に係る資産	568	730
繰延税金資産	7,869	7,595
その他	929	910
貸倒引当金	△253	△249
投資その他の資産合計	301,565	322,867
固定資産合計	439,379	453,732
資産合計	759,049	762,998

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,082	24,598
未払金	16,753	13,845
未払法人税等	5,746	4,255
未払費用	10,820	10,940
返品調整引当金	711	774
賞与引当金	3,855	2,893
その他	1,675	2,701
流動負債合計	66,646	60,008
固定負債		
役員退職慰労引当金	1,197	987
退職給付に係る負債	23,713	23,850
繰延税金負債	16,333	16,650
その他	8,031	7,582
固定負債合計	49,275	49,070
負債合計	115,922	109,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,271	15,272
利益剰余金	623,255	638,927
自己株式	△67,664	△67,706
株主資本合計	600,862	616,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,736	37,609
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	507	△7,876
退職給付に係る調整累計額	△8,213	△7,692
その他の包括利益累計額合計	28,029	22,041
新株予約権	357	478
非支配株主持分	13,878	14,906
純資産合計	643,127	653,919
負債純資産合計	759,049	762,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	224,978	216,431
売上原価	88,013	77,984
売上総利益	136,965	138,446
返品調整引当金戻入額	520	696
返品調整引当金繰入額	1,098	777
差引売上総利益	136,387	138,365
販売費及び一般管理費	113,665	111,804
営業利益	22,722	26,560
営業外収益		
受取利息	4,028	3,885
受取配当金	1,379	1,534
持分法による投資利益	432	—
その他	647	561
営業外収益合計	6,487	5,981
営業外費用		
支払利息	1	0
持分法による投資損失	—	325
為替差損	—	737
支払手数料	68	64
その他	42	37
営業外費用合計	111	1,165
経常利益	29,097	31,376
特別利益		
固定資産売却益	15	13
投資有価証券売却益	—	3,709
特別利益合計	15	3,723
特別損失		
固定資産処分損	112	105
投資有価証券売却損	—	33
特別損失合計	112	138
税金等調整前四半期純利益	29,001	34,961
法人税等	8,977	9,859
四半期純利益	20,024	25,101
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,318	1,431
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,705	23,670

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	20,024	25,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,399	1,606
為替換算調整勘定	△5,908	△8,261
退職給付に係る調整額	252	527
持分法適用会社に対する持分相当額	173	20
その他の包括利益合計	△83	△6,107
四半期包括利益	19,940	18,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,696	17,681
非支配株主に係る四半期包括利益	1,244	1,312

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	138,782	86,195	224,978	—	224,978
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	138,782	86,195	224,978	—	224,978
セグメント利益(注2)	21,103	2,591	23,694	△972	22,722

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	138,160	78,270	216,431	—	216,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	138,160	78,270	216,431	—	216,431
セグメント利益(注2)	22,744	4,981	27,725	△1,165	26,560

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。